

春を告げる、小さな“いのち”を見つけにいこう！ 「ニホンアカガエルの卵をさがそう」を開催します

国営ひたち海浜公園の「沢田湧水地」では、3月1日（日）・8日（日）に「ニホンアカガエルの卵をさがそう」を開催します。多様な動植物が生息する“生き物の宝庫”である沢田湧水地で、公園ボランティアの案内のもと、池や水田を観察しながら、寒い時期に産卵するニホンアカガエルの卵を探します。春が近づくにつれ増えていく卵の数や、水中を元気に泳ぐオタマジャクシの姿を観察しながら、自然の営みと春の訪れを感じてみませんか。



2025年開催時の様子（2025年3月2日撮影）

◆ニホンアカガエルの生態

水田の乾田化などにより、生息環境の減少が危惧されているニホンアカガエルは、平地から丘陵地にかけての明るい森林や、池・沼・水田周辺の草むら、湿地などに生息するカエルです。体長は約35～70mmで、厳冬期には一時的に冬眠を中断し、水辺に現れて繁殖行動を行います。産み落とされたばかりの卵は、小さな黒い粒状の「卵核」が、弾力のあるゼリー状の「卵のう」に包まれ、大きな塊となっているのが特徴です。

【ニホンアカガエルの卵をさがそう】

開催日：3月1日（日）・8日（日）※雨天中止 時間：10時00分～12時00分 場所：沢田湧水地 定員：各日10名
申込：当日受付（沢田湧水ネイチャーハウス） 協力：沢田湧水地パートナー、ひたちなか市立美乃浜学園



ニホンアカガエルの卵

◆公園ボランティアの取り組み

沢田湧水地パートナーは、平成27年3月から沢田湧水地を拠点に、このエリアならではの多様で貴重な自然環境を学び、保全する活動に取り組んでいます。あわせて、沢田湧水地の高い生物多様性の魅力を、現地ガイドツアーなどを通じて来園者の皆さまに伝えることを目的に活動しています。

また、スクールパートナー第1号である「ひたちなか市立阿字ヶ浦中学校」は、長年にわたり、沢田湧水地での生物調査や、砂丘地におけるスカシユリの増殖活動を行ってきました。その活動は、2021年に5校が統合して誕生した「ひたちなか市立美乃浜学園」に引き継がれ、現在も沢田湧水地での生物調査や、砂丘エリアでの環境保全活動に継続して取り組んでいます。



沢田湧水地パートナー活動の様子

Information

3月20日（金・祝）より「Flowering（フラワーリング）2026」を開催します。

公園公式SNSもご覧ください お問い合わせ 国営ひたち海浜公園 ひたち公園管理センター 広報係 服部・渡邊・石井



TEL:029-265-9001 FAX:029-265-9339

〒312-0012 茨城県ひたちなか市馬渡字大沼 605-4

<https://www.hitachikaihin.jp>